

消防だより



# 虹のマーチ

2017.2  
第36号

川越地区消防組合

## 全国一斉に春の火災予防運動が始まります

実施期間：3月1日(水)～3月7日(火)



『3月7日』は消防記念日

「消防」が、明治から昭和23年までの約75年間にわたって警察組織の一部だったことを皆さんご存知でしょうか？昭和23年3月7日に消防組織法が施行され、消防は、警察組織から分離独立し、市町村消防を原則とする自治体消防として誕生しました。

これを記念して、消防関係職員及び住民に「自らの地域を自らの手で火災その他の災害から守る」ということへの理解と認識を深めることを目的として、昭和25年3月7日が「消防記念日」に制定されました。

春の全国火災予防運動週間は、この「消防記念日」が最終日となるように設けられ、全国の消防本部などで、消防訓練、記念式典、街頭広報などさまざまな行事が行われるようになりました。

### 【火災を防ぐために】

◆この季節に多くなる出火原因は、ストーブなどの暖房器具によるものです。次のことを守り、正しく安全に使いましょう。

- ① 給油はストーブを完全に消火してから行う。
  - ② ストーブの上や周りに洗濯物を干さない。
  - ③ 燃えやすい物やスプレー缶を近くで使わない。
- ◆平成27年中の当消防組合管内の出火原因第1位は、「放火、放火の疑い」で、28件の火災が発生しています。また、「放火、放火の疑い」は、19年連続して出火原因の第1位となっています。放火による火災を防ぐために、次のことを守りましょう。
- ① 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
  - ② ごみ回収日の前夜にごみを出さない。
  - ③ 物置や車庫には鍵をかける。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。火の元火の取り扱いには十分注意し、火災予防にご協力をお願いします。

住民一人ひとりが火の用心を忘れずに、火災を起こさない環境をつくりましょう。

消防局予防課 Tel 2222-0744



## 火災現場に潜む危険

皆さん、ホースに水を通すと、どのくらいの太さになると思えますか？

消防が主に使用しているホースは、3種類あり、それぞれの太さは、口径65mm(大円)、口径50mm(中円)、口径40mm(小円)になります。

ホースは、火災現場で住民及び消防隊員の命を助ける、とても重要な道具です。しかし、注意を怠ると危険な障害物にもなり得ます。

火災現場には、建物の倒壊や爆発によって発生する落下物の接触事故等、数多くの危険が潜んでいます。急な落下物などによる上からの危険だけでなく、下にも危険は潜んでいます。その危険が、ホースによるつまずき、転倒です。実際、ホースのつまずきによる転倒事故は数多く報告されています。火災現場付近において消防隊は、迅速に消火活動等を行い、住民が怪我をしないように警戒区域を設定します。警戒区域内は消火活動等を行っているため、たくさんのホースが延長されています。また現場付近では、放水した水によって足場がぬかるみ、日々訓練を重ねている消防隊員でもつまずいて転倒してしまう場合もあります。

火災現場や火災現場付近から安全な場所へ避難する際には、落ち着いて足元にも注意しながら避難しましょう。

また、火災現場から離れた場所でも、消防車から消防車へと水を送水するため中継ホースが延長されています。

夜間は、ホースを視認するのが難しく、この時期



凍結による転倒も考えられます。消防隊員も注意を呼び掛けていますが、消防車両付近の通行の際は、ホースでの転倒に十分注意しましょう。

消防局警防課 Tel 222-5891



## 『着衣着火』に注意

着衣着火とは、着ている服に火がついて燃える現象の事です。

主な事例には、「調理中にガスコンロの炎が袖に着火」「仏壇のお供え物を下げようとしてロウソクの火が袖に着火」などがあり、日常生活の中に潜んでいる危険と言えます。

これらが原因で亡くなった方は平成26年中の全国統計で126名おり、自殺等を除く火災による死者(1262名)の10%を占めています。

内訳を見ると60歳以上の割合が96%と非常に高く(121名)、長袖や起毛素材の衣類を着ている冬期に件数が増加する傾向があります。

では、着衣着火から身を守るためには、どのような事に気を付ければ良いのでしょうか？

- 特に件数の多い『調理中』で例を挙げると、
- ・ 防炎加工のエプロンやアームカバーを使う
- ・ ガスコンロ周辺に調味料等を置かない
- ・ 調理する時にゆつたりした服を着ない

等が考えられます。

もし衣服に火がついてしまつたら、手ではたいて消すことは困難なので、すぐに水をかけ、水が無ければその場に転がって、燃えている所を地面に押しつけると火を消すことができます。



消防局指揮統制課 Tel 222-0700



## 『ありがとうカード』の配布について

救急現場において、通報してから救急車が到着するまでの間に、傷病者のそばに居合せた人(バイスタンダー)が、心肺蘇生等の救命処置や病气やけが等に対する応急手当を行っていただいた場合には「応急手当ありがとうカード」を配布しています。

このカードは、救急隊員が感謝の気持ちを伝えるために平成28年10月1日から運用を開始したものです。



### 応急手当を行ってくださった方へ

救急隊が到着するまでの間  
応急手当を行っていただき  
ありがとうございます。  
あなたの勇気ある行動に  
心から感謝します。  
川越地区消防局

また、バイスタンダーが応急手当を行ったことにより、B型肝炎等の感染症が疑われ、医療機関で検査を受けた場合は、その費用の一部をお見舞金としてお渡しできる場合があります。不安なことや、

ご不明な点がございましたら救急課までお問い合わせ下さい。  
これからも、バイスタンダーから救急隊へ、救急隊から医師へ、命のバトンを引き継ぐために、一人でも多くのバイスタンダーが勇気を持って応急手当を行っていただけるよう、応急手当の普及に努めていきます。

消防局救急課 Tel 222-0160



# おしえて！消防用設備のこと



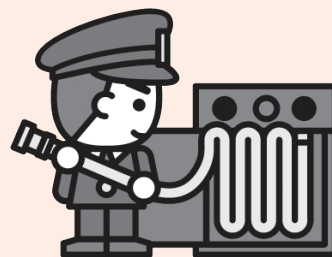
～人命を守り被害を最小限に抑えるために、【知って・使える】消防設備～

火災が発生した時、人命を守り、被害を最小限に抑えるために活用する設備を「消防用設備」といいます。消防設備は、建物の居住者などが使う設備と、消防隊が使う設備に分かれていて、主な設備は次のとおりです。

建物の居住者や従業員の方などが使う設備	消火設備	消火器・屋内消火栓設備・スプリンクラー設備など
	警報設備	自動火災報知設備・非常ベル・非常放送設備など
	避難設備	すべり台・避難はしご・緩降機・誘導灯など
消防隊が使う設備	連結送水管設備・連結散水設備・排煙設備・非常用コンセント設備など	

建物に居住、勤務している皆さんにお願いします。いざという時のために、皆さんのマンションや職場の建物には、どのような消防用設備がどこに設置してあるのかを知り、その操作方法をよく理解して使用できるようにしておきましょう。

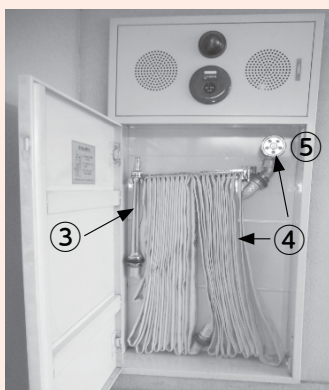
今回は、『屋内消火栓設備』の使用方法を説明します。



屋内消火栓設備（写真は1号消火栓）



扉閉



扉開

- 消火ポンプの起動ボタンを押します。  
※ボックス内に起動ボタンがある機種もあります。
- 消火栓ボックスの扉を開けます。
- ノズルを取り出し、ホースを全て外します。
- 一人はホースを伸ばし、もう一人はバルブを握ります。
- ホースが伸びたことを確認してバルブを開け、放水を開始します。

消防局予防課  
TEL 222-0744

当消防組合の  
公表制度は  
平成29年4月1日  
から始まります。



住民の皆さんが公表された情報を活用し、建物の利用を判断することで、防火安全に対する認識を高めて火災被害の軽減を図るためのものです。皆さんの安全安心のため、消防からの発信情報をご確認ください。

## ★公表される情報と項目

- 公表の対象となる建物  
たくさんの方が利用する建物や、自力での避難が困難な方が利用する施設（飲食店、店舗、ホテル、遊技場、映画館、病院、社会福祉施設等）
- 公表の対象となる重大な消防法令違反の内容  
消防用設備（屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備）の設置義務があるにもかかわらず未設置となっている建物。
- 公表する内容  
建物の名称、所在地、違反の内容

違反対象物の公表制度とは、重大な消防法令違反のある建物の情報を当消防組合ホームページで公表するものです。



「違反対象物の公表制度」が始まります。

# 川越市消防団だより

第六号

団長あいさつ



平成28年4月1日より川越市消防団長を拝命致しました栗原 隆です。

市民の皆様には、消防団活動につきまして日頃より、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

川越市消防団は市民の皆様が安全で安心して生活していただけるように、災害対応・警戒活動・予防活動をはじめ、日頃から各種訓練に励み複雑多様化する災害に対処できる技術と知識の習得に努めています。

近年、社会環境の変化とともに消防団を取り巻く状況も大きく変化し、団員の確保が非常に難しい状況にあります。その中、日本各地では大きな地震、異常気象による水害の発生が多発しております。幸いにも、川越市では大きな災害は発生しておりませんが、いつ発生するかわからない災害に対して、市民の皆様の消防団に対する期待は非常に大きくなっていると感じております。

このような状況の中、我々川越市消防団は以下のことを重点に活動を行いたいと考えます。

①『地域に根ざした活動を行い地域との連携を深め、魅力のある住民の皆様にあれ信頼される消防団を目指します。』

②『団員一人ひとりが各自の防災に対する知識や技術の向上を図り、自信と誇りが持てるように努めます。』

団員の確保問題については、「魅力のある消防団」を目指し活動を行うことにより新規団員の入団を期待します。

これからも、「市民の皆様への安全・安心」のために団員一丸となって邁進する所存でありますので、市民の皆様方の深いご理解と温かいご支援・ご協力をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 川越市総合防災訓練に参加



川越市消防団は、平成28年11月13日に高階地区にある高階西中学校で開催された『川越市総合防災訓練』に管轄である高階分団をはじめ、南古谷分団、福原分団、第二分団、女性団員が参加しました。

訓練開始となる「広報伝達訓練」では、高階分団が消防車にて市民への広報を行いました。

「救出救護訓練」では、高階分団、南古谷分団、福原分団が参加し倒壊建物の中からチェーンソーやエンジンカッター、車用のジャッキを使用して要救助者を市民の方々と協力して救出し毛布と物干竿で作った応急担架で搬送する訓練を行いました。

団員は日頃の訓練成果を発揮し市民の方々に指導しながら協力して訓練を進めました。

「火災防ぎょ訓練」では、火災が広範囲に拡大したとの想定のもと、高階分団、南古谷分団、福原分団が消防職員と協力し一斉放水訓練を実施しました。

「体験コーナー」では、女性団員が指導員となり応急手当方法、心肺蘇生法、AED実習体験を市民の方々に体験していただきました。

女性団員は日頃から心肺蘇生法、AED使用方法などを訓練しており、市民の方々にスムーズに指導することが出来ました。

「展示コーナー」では、第二分団の消防車及び消防団の装備品などを展示しました。防火衣着用体験は、多くのお子様、市民の方に体験して頂き、消防団をアピールすることができました。

川越市消防団は、今回の訓練を通じ「安全で安心な街づくり」を実現するため、これからも「災害対応力のある組織の確立」に向け、訓練を重ね「地域との連携」を大切にして活動してまいります。

## 川越市消防団は地域に根差した活動として各地区の行事に参加しています

古谷分団（根岸分団長）は、古谷地区にて毎年1月に開催される凧揚げ大会に参加しています。

この行事は、体育館で地域の子供達が親子で一緒に凧を作り、校庭で凧を揚げることで今年一年を祈願するものです。

当日はお餅やけんちん汁が振る舞われ、毎年たくさんの地域住民の方々が参加頂く中、防災活動の一環として防災教室を開催しており、消防職員、古谷分団員、女性団員でAEDの使い方や応急救護の方法を指導し、校庭では梯子車乗車体験・スモークハウスの体験・起震車体験、また、子供用に防火服着用体験も実施し、たくさんの方々に参加頂いております。

この行事を通じ、地域住民の方々が防災への意識を高め消防活動をご理解頂き、少しでも地域防災に関わっていただければと考えております。



## 福原分団の消防ポンプ車が更新されました。

福原分団（川村分団長）の消防ポンプ車が平成28年12月に新車両に更新されました。

川越市消防団では全分団に火災のほか、自然災害等に対応できるよう、エンジンカッター、チェーンソー、簡易担架等の救出救助用機材を装備しています。

新車両ではこれらの装備を十分に積載できるスペースが確保され、更に、火災時に必要なポンプも最新鋭のものが搭載されました。

福原分団では、市民の皆様を災害から守っていただけるよう、早く新車両に慣れ、使いこなせるよう操作訓練を実施しています。



## 活躍する女性消防団員

川越市消防団女性団員は、保育園・育成会・防災キャンプ等でオリジナル紙芝居の「ホットケーキがこげちゃった」や新聞紙を使用したスリッパ作り、防災グッズ借り物競争など、体験型防火防災教室を行っています。また、高齢者の方々を対象とした防火防災教室では、「おばあちゃんに住宅用火災警報器を届けよう！」という寸劇や「どんぐりころころ」のオリジナル替え歌「つけよう！ケイホウキの歌」の歌唱を行い、防火防災啓発に繋がっています。

平成28年9月に埼玉スーパーアリーナで開催された[SAITAMA Smile Women フェスタ]では、女性消防団員のPRと体験型救命講習の指導を行いました。

また、平成28年12月に三郷市文化会館で開催された、[埼玉県女性消防団員大会 in みさと]では、女性消防団員の、活動を支えてくれている家族、応援してくれている元団員、そして今いる仲間たちに、いきものがかりの「ありがとう」に手話を交えてメッセージを贈りました。

この様に女性ならではのソフトな面を活かし、地域の安全安心を願い活動をしている私たちは、今、多くの仲間を求めています。地域のためにできることが沢山あります。

あなたの力が必要です。自分にできることから始めましょう。一緒に活動してくれる団員募集中です!!



私たちと一緒に消防団で活動してみませんか？HPもありますのでぜひご覧ください。

興味のある方は 連絡先：川越地区消防局 総務課 消防団担当 TEL：049-222-0741

川越市消防団

検索

# 川島町消防団だより

第六号

## ～消防ポンプ車操法認定審査会～

平成28年8月7日、埼玉県中央防災基地(川島町上谿地内)で、第19回埼玉県消防協会川越支部消防ポンプ操法認定審査会が行われました。

消防ポンプ操法とは、消防ポンプ車を使って消火活動を行うための操作要領で、迅速な消火技術の向上、士気の高揚と組織力を養い、消防活動の充実強化を図ることを目的とした基本訓練です。



操作はじめ(第二分団)

認定審査会では、川島町・川越市消防団の全分団が参加し、ホースを延長して放水を行い、標的を倒すまでの所要時間を競います。「規律」「迅速な行動、チームワーク」「確実な動作」「機械器具の精通と愛護」「安全性」などの総合評価に応じて、「秀級」・「上級」・「中級」の認定を受けます。

各分団は、選手だけでなく分団員全員が一丸となって、数ヶ月間に渡り猛暑や悪天候の中、訓練を行い認定審査会に臨みました。

審査は大変厳しいものでしたが、日ごろの訓練の成果を発揮し、全18個分団中、川島町第二分団が1位、同第六分団が2位、同第三分団が3位という成績を収めました。また、川島町消防団6個分団全ての分団が「秀級」と認定されました。今後もポンプ操法同様、団員一丸となって地域防災力の向上に取り組んでまいります。



一致団結(第二分団)



放水(第二分団)



### ● 団長から一言 ●

多くの皆様に支えられ、日ごろの訓練の成果を発揮し、好成績を収めることができました。

団員一人一人の郷土を守る熱き気持ちと、その団結力で、住民の安全・安心な暮らしをサポートするため、さらに訓練・活動に励んで参ります。

川島町消防団長 宮前 守

### ● 分団長から一言 ●

#### 第一分団長 中村 敏明

今回の大会は番手が全員代わり一新となった大会でした。一番目という緊張の中、練習以上の成果を出し素晴らしかったです。前回の雪辱を果たしてくれました。団員一丸となった大会でした。



#### 第二分団長 兼本 雅浩

五月より週三日練習を重ねてきました。不安が残っていましたが、当日は選手一丸となり、力を発揮し優勝できました。辛い練習に耐えた選手・サポートしてくれた団員を誇りに思います。そして二分団員家族に感謝しています。



#### 第三分団長 高野 裕幸

この度の認定審査会では、操作員を中心に分団一丸となり、秀級そして第三位を獲得し大変嬉しく思っております。支えていただいた全ての皆様に分団員一同、感謝申し上げます。



#### 第四分団長 稲毛 辰則

全19回すべてで秀級を獲得出来ました。これもOB・家族・地域の皆様、たくさんの方のご協力のお陰と感謝しております。今後も第四分団一丸となって精進して行きたいと思っております。

#### 第五分団長 石川 貴洋

今大会は、選手の平均年齢45歳で挑み、各自強い覚悟を持って練習しました。決して満足のいく結果ではなかったですが、他の団員に大きな勇気と感動を与えたと思っています。



#### 第六分団長 神田 勝美

新しい選手で不安の中、練習を積み重ねてきました。仕事後の慣れない練習で、選手並びに団員全員で一致団結して三ヶ月間頑張りました。本番に強い六分団を発揮出来たと思います。



## 救出救助訓練



チェンソーにて木材切断



救助者を救出中

平成28年8月21日、川島消防署において救出救助訓練が行われました。

訓練は倒壊家屋に要救助者が2名いることを想定し、指揮者の下、1班(安全監視隊)、2班(救出隊)、3班(搬送、応急処置隊)の3班編成で臨みました。

実際に訓練を行ってみて感じた事は、まずは自分自身の安全を確保しなくてはならない事です。日ごろの訓練で行っている事を遵守し、必ず指揮者の指示に従い行動する事が必要だと感じました。次に、助けを待っている要救助者への呼びかけが大切である事です。災害現場でケガをし、不安になって救助を待つ要救助者へは励ましの言葉を継続して掛け続ける事が重要であり、勇気付ける意味でも必要であると感じました。

災害はいつやってくるかわかりません。日ごろから災害に備える事はもちろん、日々の訓練を行い災害時に役立てるように心掛けて行きたいと思いました。

## 町民球技大会ー団員同士の交流ー

平成28年7月3日川島町出丸グラウンドにて行われた川島町ソフトボール連盟夏季大会に川島町消防団の各分団の代表が合同チームを結成し出場しました。

川島町ソフトボール連盟夏季大会には川島町の各地区から多くのチームが参加し、トーナメント方式で試合が行われました。川島町消防団チームは残念ながら一回戦で敗退をしまいましたでしたが、大会参加者は分団を越えた交流を図ることができました。

また、ソフトボール大会に参加されている他のチームの方々も川島町在勤・在住という方が多く、今回の大会のような機会に住民とスポーツを通じた交流を図ることで、災害時における地域の方々との連携につながっていきます。

今後も様々な行事などを通して地域の皆様とのつながりを深め、地域防災力をより強固なものにしていきます。



## 新入団員紹介

平成28年6月1日入団

川島町消防団本部 星野 佳奈

6月から消防団に入団いたしました星野佳奈です。たくさんの方の活動を通して、様々なことを学び少しでも生まれ育った川島町に貢献できるように、がんばりたいと思います。また、活動には楽しく、積極的に参加していきたいとも思いますのでよろしくお願いたします。



丹下団員 星野団員

平成28年12月1日入団

川島町消防団本部 丹下紗香

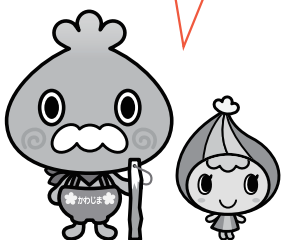
私が、消防活動を身近に感じるようになったのは、自衛消防大会に参加したことがきっかけです。隊員同士が協力しあって初めて、有事に対処できることを学びました。

今後は、消防団の一員として、地域防災の輪を広げ、有事の際に助け合うことのできる町を目指して活動していきたいです。



川島町消防出初式開会式

消防団員を募集しています！  
災害のない、安心して暮らせるまちづくりに、あなたの力を発揮してみませんか。



# 歳入

負担金 (消防行政を運営するのに必要な負担金 (組合を構成する川越市・川島町からの負担金))	4,657,795,176 円 (95.0%)
使用料及び手数料 (消防関係検査等の手数料等)	6,030,031 円 ( 0.1%)
財産収入 (基金運用の利子等)	681,609 円 ( 0.0%)
繰越金 (前年度から持ち越されたお金のこと)	139,579,799 円 ( 2.8%)
諸収入 (受託収入等の他の収入科目に含まれないもの)	23,996,996 円 ( 0.5%)
組合債 (金融機関等からの借入金)	56,100,000 円 ( 1.1%)
国庫支出金 (一定の事業に使いみちを特定して国から交付されるもの)	20,090,000 円 ( 0.4%)
<b>歳入合計</b>	<b>4,904,273,581 円 (100%)</b>

# 歳出

議会費 (議員報酬等の議会運営費)	4,844,785 円 ( 0.1%)
総務費 (組合管理者・公平委員・監査委員等の特別職の報酬等の経費)	3,163,616 円 ( 0.1%)
消防費 (消防・救急等に必要経費及び消防施設の建設費等)	4,443,759,790 円 (92.6%)
公債費 (借入金の元金、利子の返済のための経費)	346,409,813 円 ( 7.2%)
<b>歳出合計</b>	<b>4,798,178,004 円 (100%)</b>

\*比率 (%) の合計は、端数処理の関係で 100% とならない場合があります。「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものです。

## 川越地区消防組合定例表彰式 消防音楽隊第12回定期演奏会

ウェスタ川越で定例表彰式と消防音楽隊定期演奏会を開催します。(入場無料)

開催日 平成29年3月5日(日)

### ●川越地区消防組合定例表彰式

開式時間 午後1時

閉式時間 午後2時15分(予定)

管理者(川越市長)表彰、消防団長表彰

### ●川越地区消防組合消防音楽隊

#### 第12回定期演奏会

開演時間 午後2時40分

閉演時間 午後4時(予定)



ぜひ、この機会に消防音楽隊の演奏をお聴きください。

消防局総務課

TEL222-0741

消防局総務課 TEL222-0741

- ・ 神奈川 川崎市麻生区下麻生一丁目 邦夫さん
- ・ 東京都 江東区大島一丁目 中村 邦弘さん
- ・ 東京都 羽村市羽加美二丁目 齊藤 一雄さん
- ・ 東京都 幸町三丁目 佐治 猛さん
- ・ 東京都 志木市幸町三丁目 金子 忠さん
- ・ 東京都 比企郡嵐山町大字廣野 井上 陽子さん
- ・ 東京都 入間市高倉二丁目 田野 倉宏さん
- ・ 東京都 川越市伊勢原町五丁目 前田 幸徳さん
- ・ 東京都 川越市新富町一丁目 島村 徹也さん
- ・ 東京都 川越市場的場北二丁目 小峯 和美さん
- ・ 東京都 川越市霞ヶ関北二丁目 岡田 繁幸さん
- ・ 東京都 川越市大字鯨井 尾崎 直さん
- ・ 東京都 川越市岸町三丁目 大橋 孝次さん
- ・ 東京都 川越市大字鯨井 岩田 達夫さん

◎救急活動の協力に対し、消防局長から感謝状が贈られました。



## 虹色通信

### 救急隊員自主研修会

震災の映像を見る機会が増え、多くの人が危機感を強めているのは確かであろう。しかし映像慣れした現代人には、その危機感にどこか緊迫感が足りないように思える。◆救急隊員は毎年、自主研修会を開催している。隊員自らが今必要と感じることについて「もっと知りたい」という意欲から端を発した研修である◆8回目の今回は、阪神淡路大震災の当日、兵庫県立淡路病院の当直医師3名の一人、水谷医師(現神戸百年記念病院)を講師に招き、あの時医療現場で起きていた真実に耳を傾けることとなった◆受講した隊員からは、惨劇を実際に目にしたかのような臨場感に満ちた感想が多く寄せられた。講義中にあった「大震災に備えるために、今何をすべきか」という講師の熱のこもった言葉に、受講生の多くが共鳴した◆一人ひとりが震災を「火急の用」と直感した瞬間である。

## 川越地区消防組合議会が開催されました。

○平成28年第4回臨時会(平成28年12月27日開会)管理者提出議案

議案第17号	件名	結果
川越地区消防組合消防職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて		原案可決



消防だより

# 虹のマーチ

2017.2 第36号

発行/川越地区消防局 総務課

〒350-0823 川越市神明町48-4 TEL049-222-0741

http://www.119kawagoechiku.jp/

Fontworks UDFont

火事・救急・救助は119番 災害情報テレフォンサービス TEL0180-994-310 \*かけまちがいにご注意ください。